

山田町立船越小学校

2014年 8月 22日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

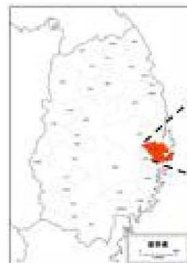
- (1) <http://owase.exblog.jp/15268632/>(個人ブログ)
- (2) 『高台移転、学びや完成 被災3県で初 岩手・船越小』河北新聞
http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201404/20140406_33023.html

【場所】

船越湾から80mほど離れていて、学校は防潮堤越しに海が見える位置にある。

住所:岩手県下閉伊郡山田町船越
第10地割41-21

※旧校舎の裏山を整地し、新校舎を建設して
2014年4月に再開した。(2)



赤い範囲:山田町



緑の範囲:船越小学校

【東日本大震災による被害】

2階まで浸水。(1)(2)

【震災当日の様子】

町内に9つある小学校のうち、唯一被災した学校施設であった。海拔約15mの高台にある。地震が発生したあと、児童は校庭に避難した。しかし、校務員の判断で、さらに高台となる裏山に避難した。(1)

【調査して言えること】

学校の敷地は高台の上に有り、標高は15mほどである。学校からは防潮堤越しに海を見ることができる。校舎の裏は山になっているため、高い場所へ避難しやすい学校である。また、被災した校舎のあった場所がかさ上げされて、現在はより高い場所に学校がある。

裏山には住宅があり、地図で見ると学校敷地から直接住宅の横を通して高台へ登れる様子である。その高台は20mほどの標高である。更に山道を200mほど登れば標高30mくらいまで登ることができる。



防潮堤の上から見た学校の敷地(2014/3/19撮影)

※旧校舎があったのは石垣のある高さで、その上は新しくかさ上げされた敷地で現在は校庭になっている。(2)



新しく建設された校舎(2014/3/19撮影)



学校側から見た防潮堤(2014/3/19撮影)

※学校のある高台の下から撮影している。
学校からは海が見える。